



ZENSOUSEI 21th

平成11年6月8日第三種郵便許可(年4回2・5・8・11月の10日発行) そうせい第170号平成27年8月発行

# SOUSEI

2015.08 No.170

〔特集〕

## 全曹青 第21期スタート!!

～笑顔の君と おなじ空を見上げて～



## 特集

# 全曹青

平成27年5月、全国曹洞宗青年会第21期がスタートしました。20期では40周年という大きな一歩を踏み、21期は更にその先を目指します。21期は発足当時からテーマ「大衆教化の接点を求めて」を源流に踏まえつつ「笑顔の君と おなじ空を見上げて」をスローガンに、様々な活動に一層邁進してまいります。巻頭では、会長の所信表明とともに、20期から大きく変化した組織について特集いたします。

# 第21期START!!

## 笑顔の君と おなじ空を見上げて

### 全

国曹洞宗青年会(以下、全曹青)は40周年という節目を無事円成し、新たなスタートをきりました。この門出に次の節目となる10年後、青年僧侶を取り巻く環境はどうなっているのかと考えたとき、すこし気掛かりになりました。地方過疎化による寺院経営の難しさ。宗教儀礼に対する考え方の変化など現在においても大きな問題が、10年後どのように存在するのでしょうか。次の世代に繋げるために、いま私たちはどうあるべきなのでしょう。

4年前の東日本大震災では、一人の青年僧侶として、そして、宗教者として深く考えさせられました。未曾有の被害、悲惨な状況、自身の未熟さを痛感するなかで、私自身が活動出来る場所を見つけていくことができたのは全曹青でした。自身が行動しないでするのだという強い意志を持った諸先輩

方のご指導のなか、避難所や仮設住宅へ赴き、寄り添い耳を傾け、言葉をお掛けしに行った私が却って劳いの言葉をいただきました。その時の気持ちは今でも忘れません。

特に昨年、地元兵庫県第二宗務所管内において発生した豪雨災害においては、全曹青と地元青年会の力を強く感じました。お盆の疲れも残る8月下旬、大量の土砂を掻き出す大変な作業です。本堂内に立ちほだかる1メートルを超える土砂の前に立ち尽くす私でしたが、全国各地からお越しいただいた皆さまのお陰で土砂は確実に減っていききました。大粒の汗を流しながら作業いただく方がたのお姿にどれだけ勇気づけられたことでしょうか。どれだけ救われたのでしょうか。どれだけ僧侶として自身を見つめたのでしょうか。そこに私は全曹青のなんたるかを強く感じたのです。同じ意識を持

った仲間に見える場所としての全曹青の力に、私は大変救われたのです。災害を機に改めて認識したことは他にもあります。広報委員会によって国内のみならず世界へ発信された情報は、多くの人々の反響を呼び、大きな支援へと広がりました。世界仏教徒青年連盟を通して海外からいただいた多くの祈りは、私たちが世界の同世代仏教徒とともにあるということを確認し、交流はさらに密なものとなりました。総合企画委員会では人々の想いを受け止め、届けたいという信念のもと、文通や写経を通して被災地と全国を結びました。観世ふおん委員会では、被災地での行茶活動を通して苦悩に生きる人々に寄り添うことはもちろん、この活動のなかで日常の檀務において生まれる青年僧侶としての共通の悩みや苦悩が多いことに気づき、どう向

今期は全国の青年僧侶が共に歩むというスケールメリットを改めて見つけ、会員同士の相互交流、情報の共有を行っていきま。命の声に向き合い、仏道を求めてやまない私たちが、同世代で自由に問題を出し合い、支え合っていく環境を作ります。国内だけでなく、海外の宗教者や仏教徒との交流を促進し、これからの未来を共に考えます。戦後70年を迎え、二祖峨山禅師650回大遠忌を迎える今期、私たちの今を見つめ直し、3年後の世界仏教徒連盟・世界仏教徒青年連盟世界大会、5年後の東京オリンピック、次の世代が入会する10年後を見据え、さらなる共同体へと発展していることを理想に掲げ、古教照心の示訓を旨とし、自己の研鑽に努め、大衆教化の接点を求めて、心豊かな社会の形成に皆さまと取り組んでまいります。私たち青年僧侶のがむしやかな挑戦が、やがて多くの人々を導いていくことを。会員、宗門、そして共に生きる多くの人々と、その感動を共有し、未来へと繋がります。

## 21期の全曹青は

## こう変わります

笑顔の君と、  
おなじ空を見上げて……

今期は全国の青年僧侶が共に歩むというスケールメリットを改めて見つけ、会員同士の相互交流、情報の共有を行っていきま。命の声に向き合い、仏道を求めてやまない私たちが、同世代で自由に問題を出し合い、支え合っていく環境を作ります。国内だけでなく、海外の宗教者や仏教徒との交流を促進し、これからの未来を共に考えます。戦後70年を迎え、二祖峨山禅師650回大遠忌を迎える今期、私たちの今を見つめ直し、3年後の世界仏教徒連盟・世界仏教徒青年連盟世界大会、5年後の東京オリンピック、次の世代が入会する10年後を見据え、さらなる共同体へと発展していることを理想に掲げ、古教照心の示訓を旨とし、自己の研鑽に努め、大衆教化の接点を求めて、心豊かな社会の形成に皆さまと取り組んでまいります。私たち青年僧侶のがむしやかな挑戦が、やがて多くの人々を導いていくことを。会員、宗門、そして共に生きる多くの人々と、その感動を共有し、未来へと繋がります。

# 宗派の垣根を切り開き 仏道のまだ見ぬ先へ進もう



全国曹洞宗青年会

第21期会長

安達瑞樹

き合うかという活動の指針にもなりました。全曹青は同世代が地域、安居、学歴、境遇の壁無くお互いの姿を見つめ、時には悩みを共有し、自身を喚起させられる仲間に出会える。そして、あらゆる苦難を共に乗り越えられる仲間と活動ができる場所なのです。会員の皆さまと取り組んできた活動は、私たちの力となって確実に次世代へと繋がっていきます。

ともに生きる私たちは、時に地域や国籍、民族や宗教の垣根に苛まれることがあります。しかしながら、その垣根を作っているのも私たちです。それぞれが率先して行動し、笑顔でその垣根を切り開くことができれば、仏の道へ、そして、まだ見ぬ世界へ進むことができるのではないのでしょうか。全曹青を通して加盟48団体、そして、国内外のあらゆる団体と連携を取り、広く世界と感動を共有しませんか。災害時は被災地の人々に寄り添い、電話の向こう側にいる日常に生きる人々に耳を傾け、ともに考え行動しようではありませんか。互いが笑顔に包まれたとき、見上げる空はどれほど素晴らしいのでしょうか。この貴重な経験が各々の青年会の更なる発展、ご自坊における布教活動、そして、未来に繋がるよう皆さまと研鑽に努め、活動したいと考えます。

宗門御寺院様、青年会会員諸師には全国曹洞宗青年会へのより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

合掌

全曹青の連絡協議体としての強化  
会員同士、おなじ空を見上げて

今期は加盟48団体の交流を促進し、理解を深めます。お互いの活動を見つめる場を増やし、他団体の活動が自身の活動に活かすことができる場所を作り、互いの曹青会の連携を一層深めるため、ご協力をお願いいたします。

その実現のためにも、SNSやホームページ『般若』、災害メーリングリストなどさまざまな方法を駆使し、情報共有を強固なものにします。研修会や各曹青会の活動情報をはじめ、今後起こりうる災害にむけて迅速に対応できる体制を会員の皆さまと再構築いたします。

総合企画委員会・教化法式委員会・  
広報委員会

共に行ずる、  
おなじ空を見上げて

総合企画委員会では、布教教化の新しいかたちを提案いたします。広報委員会では、会員相互の情報交換のみならず、青年僧侶としてのメッセージを社会へ発信いたします。

また、今期から教化法式委員会を新たに設置いたします。40周年事業であった味来食堂を引き継ぐなど、祖師の教えに沿った私たちにしかできないメッセージを発信してまいります。

特別委員会「災害復興支援部」の設置  
曹洞宗東日本大震災災害対策本部  
復興支援室の連携

## 被災地とともに、 おなじ空を見上げて

今期から全国各地災害担当と東日本大震災復興支援担当に分け、災害復興支援部事務局長が情報を集約し、災害時の通常会務に支障をきたさないよう、役割を分担いたします。全国各地の地区連絡員とともに災害時には情報の共有、協力の要請など迅速に対応いたします。また、支援者支援の体制作りが継続した課題となっています。活動協力の要請や助成金申請の情報など、被災地で活動する加盟団体のボランティア活動を後方支援いたします。

国際委員会を新たに設置  
(国際間交流を通して)

特別委員会「全日本仏教青年会特別委員会」の設置(他宗派との連携)

## おなじ星から、 おなじ空を見上げて

今後、少子高齢化などさまざまな要因から国内の人口が減少し、国外からの移住者と接する機会が増えると考えます。その方がたとの最初のコミュニケーション窓口が宗教であるとするなら、私たちは宗派・国籍を超えて出来ることが沢山あるはず。現在、世界仏教徒青年連盟(WFBBY)日本

センターである全日本仏教青年会(JYBA)

において、全曹青は国際委員会を担当し、日本の伝統仏教青年会における国際活動の代表を担っています。3年後の2018年には、曹洞宗が加盟する全日本仏教会60周年記念事業として世界仏教徒連盟・世界仏教徒青年連盟世界大会が国内において誘致され開催されます。2020年には東京オリンピックが開催されるなど、益々国際間交流が活発となる時代に、他国の宗教者や仏教徒、そして文化に触れることによって、青年僧侶としての自身を見つめる機会を作り、やがてその経験が共に生きる心豊かな社会の形成、また各々の布教活動に繋がるよう宗派を超えて企画してまいります。

電話相談事業『観世ふおん』を  
常設委員会に

## 日常に生きる人々と、 おなじ空を見上げて

第18期から特別委員会として継続して参りました電話相談、ならびに傾聴に関する研修会等の取り組みを今期において常設委員会「心の傾聴委員会」とし、更なる活動を進めてまいります。これはご承知の通り、私たちが僧侶として日常に生きる人々に寄り添い、耳を傾けることは日々の布教活動において必須のことであり、これについて研鑽することは必要不可欠であります。私たちは、加盟団体の皆さまとともに青年僧侶として出来ることを考えてまいります。



1



2



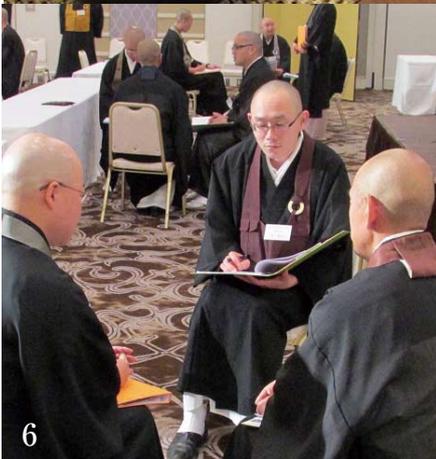
3



4



5



6

1：全曹青オリジナル散華「想華～おもいばな～」／2：全曹青広報誌『SOUSEI』／3：精進料理教室「味来食堂」／4：東日本大震災被災者追悼慰霊行脚  
5：国境・宗派を超えた活動／6：各地で行われる傾聴研修会

## 第21期会長 安達瑞樹

兵庫県篠山市、如意山長楽寺住職。41歳。兵庫県第二宗務所青年会所属／京都曹洞宗青年会OB。全曹青では18期総合企画委員、19期総合企画委員長、20期副会長を歴任し、21期会長に就任。現在、宗務所布教師（稟命二等布教師）、篠山市高齢者大学講師などでも活躍。自坊では「長楽寺文化教室」として坐禅会やヨガ教室、写経会、落語会を開催し檀信徒や近隣住民との交流に努める。また、趣味のギターや落語（学生時代にコンクールで審査員特別賞を2回受賞）を活かし、被災地での行茶活動では歌や小唄で笑顔の花を咲かせる人気者。



# ここが新しい！全曹青21期組織

「40周年記念事業実行委員会」の解散とともに、新たに「教化法式委員会」を設立

40周年記念に関する様々な事業の企画・運営を担った「40周年記念事業実行委員会」の後を引き継ぐ形で「教化法式委員会」が設けられた。

これは19期までであった「法式委員会」に準ずるものではあるが、宗門内での法要作法や文献資料などについて研鑽する「法式」に加え、広く一般大衆に曹洞宗の教えや禅の文化を発信していく「教化」も担うこととなる。後者の代表的な活動は、40周年記念事業実行委員会から引き継いだ味来食堂事業。21期では、初めて曹洞宗檀信徒会館5階調理室を会場にお借りしての味来食堂を7月6日に開催した（記事は11月掲載予定）。

「観世ふおん特別委員会」から「心の傾聴委員会」へ

20期まで、「観世ふおん」事業や「傾聴研修会」の研修部分を担っていた「観世ふおん特別委員会」は、21期から常設委員会「心の傾聴委員会」としてリスタート。

昨今多様化する個人の悩み・悲しみ・問題に対応する為、電話相談事業の更なる拡充や、聴く側としての宗門僧侶の育成の場

として傾聴研修会の企画運営に対応する。

「国際特別委員会」から「国際委員会」へ

新たに「全日仏青特別委員会」の設置

20期までの「国際特別委員会」が担ってきた役割は、常設委員会「国際委員会」と、新設の特別委員会「全日仏青特別委員会」が担っていくこととなる。

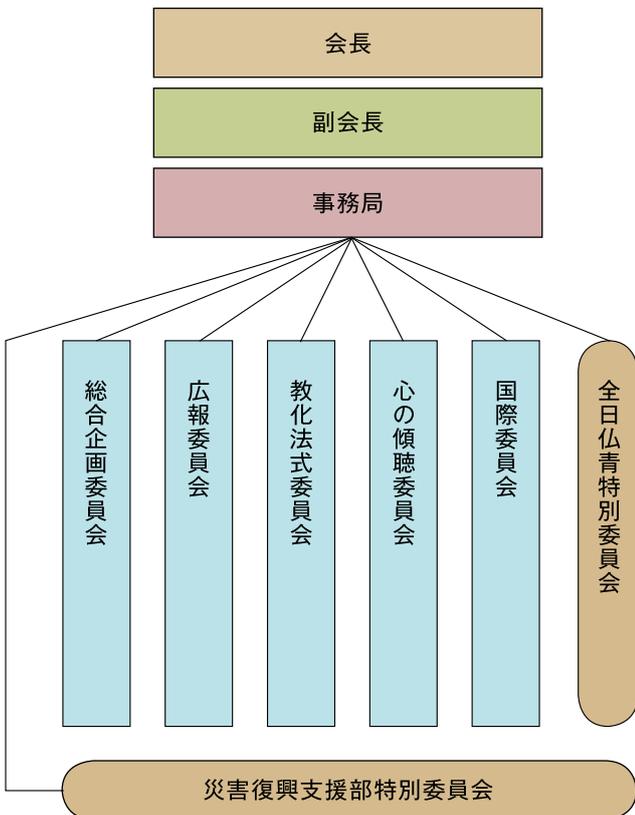
「国際委員会」は、宗門及び日本仏教界が行ってきた国際布教・国際ボランティアの

歴史を踏まえ、2018年に東京近郊で開催が予定されている世界仏教徒連盟・世界仏教徒青年連盟の大会や、その2年後に予定される東京オリンピックを念頭に、各国仏教徒との交流や、仏教文化の宣揚、世界平和への貢献を目的として活動する。

「全日仏青特別委員会」は、全国曹洞宗青年会も加盟する全日本仏教青年会（以下、全日仏青）との活動を通し、宗派の垣根を越えた仏教徒としての活動を行う。また、全日仏青が世界仏教徒青年連盟の日本センターを担う存在でもあることから、国際委員会との連携を密にし、国内外に日本仏教、その中に位置する曹洞宗を発信していく。

文／広報委員長 宮入真道

第21期全国曹洞宗青年会組織図



# 平成26年度 会計決算報告

## 平成27年度 全国曹洞宗青年会 一般会計歳入歳出予算

期間 平成27年4月1日～平成28年3月31日

歳入総額 32,320,000 円  
歳出総額 32,320,000 円  
差引残額 0 円

## 平成26年度 全国曹洞宗青年会 一般会計歳入歳出決算 報告

期間 平成26年4月1日～平成27年3月31日

歳入総額 34,314,493 円  
歳出総額 32,676,980 円  
差引残額 1,637,513 円

款	項	目	前年度予算額	本年度予算額	比較増減	備考
1	基本運営費		4,352,659	4,984,513	△ 11,854	
	1	会費	2,794,000	2,727,000	△ 67,000	
		1 同上	2,794,000	2,727,000	△ 67,000	
	2	繰越金	1,558,659	1,637,513	78,854	
		1 前年度繰越金	1,558,659	1,637,513	78,854	
2	事業費		28,302,341	27,955,487	△ 346,854	
	1	賛助費	7,500,000	7,600,000	0	
		1 同上	7,500,000	7,600,000	0	
	2	助成金	15,300,000	14,950,000	△ 350,000	
		1 事業助成金	15,000,000	14,500,000	△ 500,000	曹洞宗執行より
		2 協賛金	300,000	450,000	150,000	広報誌広告協賛金
	3	事業収入	5,500,000	5,500,000	0	
		1 同上	5,500,000	5,500,000	0	都市事業
	4	繰戻金	0	0	0	
		1 委員会運営費繰戻金	0	0	0	
	5	雑収入	2,341	5,487	3,146	
		1 同上	2,341	5,487	3,146	基金利息等
	合 計		32,655,000	32,320,000	△ 335,000	

款	項	目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
1	基本運営費		4,352,659	4,285,659	△ 67,000	
	1	会費	2,794,000	2,727,000	△ 67,000	
		1 同上	2,794,000	2,727,000	△ 67,000	2727名分
	2	繰越金	1,558,659	1,558,659	0	
		1 前年度繰越金	1,558,659	1,558,659	0	
2	事業費		28,302,341	30,028,834	1,726,493	
	1	賛助費	7,500,000	7,077,000	△ 423,000	
		1 同上	7,500,000	7,077,000	△ 423,000	
	2	助成金	15,300,000	15,095,000	△ 205,000	
		1 事業助成金	15,000,000	15,000,000	0	曹洞宗執行より
		2 協賛金	300,000	95,000	△ 205,000	広報誌広告協賛金
	3	事業収入	5,500,000	4,684,186	△ 815,814	
		1 同上	5,500,000	4,684,186	△ 815,814	都市事業
	4	繰戻金	0	519,228	519,228	
		1 委員会運営費繰戻金	0	519,228	519,228	
	5	雑収入	2,341	2,653,420	2,651,079	
		1 同上	2,341	2,653,420	2,651,079	現金利息 周年事業特別会計より繰戻金
	合 計		32,655,000	34,314,493	1,659,493	

款	項	目	前年度予算額	本年度予算額	比較増減	備考
1	基本運営費		9,830,000	9,680,000	△ 150,000	
	1	会議費	850,000	850,000	0	
		1 役員会	350,000	350,000	0	執行部会、理事会
		2 総会	500,000	500,000	0	評議員会、総会
	2	執行交通費	7,900,000	7,600,000	△ 200,000	
		1 役員会	4,200,000	4,000,000	△ 200,000	執行部会、理事会
		2 評議員	2,100,000	2,100,000	0	年2回 定額、臨時評議員会
		3 渉外交通費	1,500,000	1,500,000	0	各区人会、全日仏書出内等
	3	全日仏書関連費	250,000	250,000	0	
		1 負担金	250,000	250,000	0	全日仏書関連負担金
	4	事務費	780,000	830,000	50,000	
		1 通信費	300,000	300,000	0	郵送料、振込手数料等
		2 慶弔費	300,000	300,000	0	祝賀等
		3 消耗品費	100,000	150,000	50,000	名刺、郵便封筒作成等
		4 備品費	80,000	80,000	0	
		5 雑費	50,000	50,000	0	
		1 同上	50,000	50,000	0	
	6	予備費	100,000	100,000	0	
		1 同上	100,000	100,000	0	
2	事業費		22,725,000	22,840,000	△ 85,000	
	1	委員会運営費	6,150,000	7,000,000	850,000	
		1 総合企画委員会	1,750,000	1,500,000	△ 250,000	
		2 広報委員会	2,700,000	2,300,000	△ 400,000	
		3 周年事業委員会	1,700,000	1,700,000	0	
		4 教化法式委員会		1,250,000	1,250,000	
		5 心の相談委員会		700,000	700,000	
		6 因習委員会		1,250,000	1,250,000	
	2	事業費	5,800,000	5,850,000	50,000	
		1 本部事業費	4,500,000	4,650,000	150,000	花まつり、都市事業等
		2 研修会開催費	300,000	200,000	△ 100,000	中央研修会等
		3 禅文化学林関係費	1,000,000	1,000,000	0	
	3	広報費	9,500,000	9,100,000	△ 400,000	
		1 編集費	2,700,000	2,500,000	△ 200,000	広報誌編集費
		2 印刷費	2,300,000	2,300,000	0	広報誌印刷
		3 発送費	4,000,000	3,800,000	△ 200,000	広報誌送料
		4 封筒制作費	500,000	500,000	0	費用封筒、挨拶文作成費
	4	助成金	500,000	400,000	△ 100,000	
		1 管区大会助成金	500,000	400,000	△ 100,000	東海、九州、東北・中国
	5	積立金	210,000	140,000	△ 70,000	
		1 周年事業基金	100,000	100,000	0	
		2 次期執行部準備金	200,000	30,000	△ 170,000	
		3 その他	10,000	10,000	0	
	6	雑費	50,000	50,000	0	
		1 同上	50,000	50,000	0	
	7	予備費	515,000	100,000	△ 415,000	
		1 同上	515,000	100,000	△ 415,000	
	合 計		32,555,000	32,320,000	△ 235,000	

\*同、各項目間の流用を認めるものとす。

【基金】 ボランティア基金 7,975,598円  
周年事業基金 1,500,000円  
次期執行部準備金 820,166円  
全国曹洞宗青年会 会長 安達 瑞樹  
会計 伊藤 承章

款	項	目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
1	基本運営費		9,830,000	8,258,474	△ 1,571,526	
	1	会議費	850,000	478,420	△ 371,580	
		1 役員会	350,000	191,666	△ 158,334	執行部会、理事会
		2 総会	500,000	286,754	△ 213,246	評議員会、総会
	2	執行交通費	7,800,000	6,841,000	△ 959,000	
		1 役員会	4,200,000	3,274,200	△ 925,800	執行部会、理事会
		2 評議員	2,100,000	2,028,500	△ 71,500	年2回 定額、臨時評議員会
		3 渉外交通費	1,500,000	1,538,300	38,300	管区大会、全日仏書出内等
	3	全日仏書関連費	250,000	250,000	0	
		1 負担金	250,000	250,000	0	全日仏書関連負担金
	4	事務費	780,000	535,750	△ 244,250	
		1 通信費	300,000	255,480	△ 44,520	郵送料、振込手数料等
		2 慶弔費	300,000	263,376	△ 36,624	祝賀等
		3 消耗品費	100,000	8,321	△ 91,679	インク等
		4 備品費	80,000	8,673	△ 71,327	
	5	雑費	50,000	2,904	△ 47,096	
		1 同上	50,000	2,904	△ 47,096	
	6	予備費	100,000	150,400	50,400	
		1 同上	100,000	150,400	50,400	
	2	事業費	22,825,000	24,418,506	1,593,506	
	1	委員会運営費	6,150,000	6,150,000	0	
		1 総合企画委員会	1,750,000	1,750,000	0	
		2 広報委員会	2,700,000	2,700,000	0	
		3 周年事業委員会	1,700,000	1,700,000	0	
	2	事業費	5,800,000	5,739,747	△ 60,253	
		1 本部事業費	4,500,000	4,586,927	86,927	花まつり、都市事業等
		2 研修会開催費	300,000	152,820	△ 147,180	中央研修会等
		3 禅文化学林関係費	1,000,000	1,000,000	0	
	3	広報費	9,500,000	9,667,359	167,359	
		1 編集費	2,700,000	2,689,632	△ 10,368	広報誌編集費
		2 印刷費	2,300,000	2,342,864	42,864	広報誌印刷
		3 発送費	4,000,000	3,979,412	△ 20,588	広報誌送料
		4 封筒制作費	500,000	655,451	155,451	費用封筒、挨拶文作成費
	4	助成金	500,000	500,000	0	
		1 管区大会助成金	500,000	500,000	0	北海道、東北、東海、中国、九州
	5	積立金	210,000	1,600,000	1,290,000	
		1 ボランティア基金	100,000	100,000	0	
		2 次期執行部準備金	200,000	0	△ 200,000	
		3 その他	10,000	1,500,000	1,490,000	周年事業基金へ
	6	雑費	50,000	0	△ 50,000	
		1 同上	50,000	0	△ 50,000	
	7	予備費	515,000	761,400	246,400	
		1 同上	515,000	761,400	246,400	
	合 計		32,655,000	32,676,980	21,980	

【基金】 ボランティア基金 7,975,598円  
周年事業基金 1,500,000円  
次期執行部準備金 820,166円  
全国曹洞宗青年会 会長 櫻井 尚孝  
会計 松本 尚仁





平成26年度 全国曹洞宗青年会  
周年事業基金 報告

平成26年4月1日～平成27年3月31日

歳入総額	6,500,000 円
歳出総額	5,000,000 円
差引残額	1,500,000 円

<歳入の部> (単位:円)

項目	金額	備考
前年度繰越金	5,000,000	
本年度積立金	1,500,000	
合計	6,500,000	

<歳出の部> (単位:円)

項目	金額	備考
事業費	5,000,000	40周年事業活動費
合計	5,000,000	

平成26年度 全国曹洞宗青年会  
次期執行部準備基金 報告

平成26年4月1日～平成27年3月31日

歳入総額	822,166 円
歳出総額	2,000 円
差引残額	820,166 円

<歳入の部> (単位:円)

項目	金額	備考
前年度繰越金	822,166	
本年度積立金	0	
合計	822,166	

<歳出の部> (単位:円)

項目	金額	備考
会議費/交通費	2,000	出向予定者交通費、会場費
合計	2,000	

平成26年度 全国曹洞宗青年会  
ボランティア基金 報告

平成26年4月1日～平成27年3月31日

歳入総額	11,801,223 円
歳出総額	3,825,625 円
差引残額	7,975,598 円

<歳入の部> (単位:円)

項目	金額	備考
前年度繰越金	5,783,367	平成25年度より
本年度支援金	5,806,856	ボランティア基金
	111,000	納経料
本年度積立金	100,000	
合計	11,801,223	

<歳出の部> (単位:円)

項目	金額	備考
見舞金・支援金等	590,000	
復興支援活動費	3,235,625	
合計	3,825,625	

(歳出内訳) (単位:円)

項目	金額	備考
子ども自然ふれあい広場助成金	400,000	10万×4か所 (青森曹青、四国曹青、熊本曹青、長野第一曹青)
災害見舞金・活動支援金	190,000	災害見舞金(1万円)×7か所
		山形第二宗務所、長野第二曹青、四国曹青、兵庫第二曹青
		京都曹青、広島曹青、長野第二曹青
		活動支援金(3万円)×4か所
山形曹青、兵庫第二曹青、京都曹青、広島曹青		
小計	590,000	
復興支援活動費	3,235,625	復興支援活動費等
合計	3,825,625	

両大本山御用達  
梅花流法具販売指定店

法衣・装束・荘厳・神仏具・贈答用記念品



(全国曹洞宗法衣同業会会員)

<本 社> 〒460-0011 名古屋市中区大須三丁目39番33号  
(大須交差点東北側)  
TEL (052) 241-0901(代表) FAX (052) 241-1904

曹洞宗専司御用品承り



〒604-8074 京都市中京区富小路通三条南入  
電話 075-221-3033  
F A X 075-221-4640

## 北信越管区理事 高野義範



このたび北信越管区理事を務めさせていただくことになりました、新潟県曹洞宗青年会の高野義範と申します。これまで理事を務めさせていただくほど全曹青との関わりはございませんでしたので、大任を拝命し恐縮いたしております。全曹青並びに各青年会の活動は単なる青年会活動という枠ではなく、今後の宗門発展の礎となる非常に重要な意義を持つ活動であると思っています。新執行部発足に伴い新たな事業計画、活動を展開されていくなかで、管区理事として全曹青全般の活動の一助となるよう微力ではございますが精一杯努めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。最後になりますが、全曹青会員の皆様の御法体堅固を御祈念申し上げます。

# 北信越

## 管区理事 ごあいさつ

各管区に所属する曹洞宗青年会の相互連絡を図り、また、全曹青の理事として全曹青と各曹青会との橋渡しや情報共有を担う管区理事。

今号と次号の2回にわたり、各理事の所信をご紹介します。



## 東海管区理事 吉岡博瑞



昨年より東海管区理事を務めさせていただいております、曹洞宗静岡県第一宗務所青年会所属の吉岡です。現在、東海四県（愛知、岐阜、三重、静岡）には10曹青があり、それぞれが周年を迎え、各地区青年宗侶による活潑な大会の成功を修めております。ご協力いただいております関係各位の皆様には深く感謝し心よりの御礼申し上げます。

このように、私達が実践実行、弁道精進できるのも先達や先輩諸老師の努力と研鑽の賜物であるということをお忘れにはならないと思います。また事務局、庶務、会計の皆様のお陰でもあります。感謝の気持ちを常に持ち青年僧と呼ばれるわずかな数年、与えられた時間を無駄にしないよう、大切な仲間達とともに成長していきたいと思っております。今後とも、ご指導のほどをよろしくお願いいたします。

# 東海

## 北海道管区理事 富田大輔



このたび全国曹洞宗青年会・北海道管区理事に就任しました富田です。私は青年会のモットーは、アイデアとフットワークだと考えています。時代の流れや、世間のニーズを考えて、社会の求めるところと離れた活動に陥らないように注意しなければなりません。その為には日常生活の様々な問題を注視する必要があります。新聞・雑誌・テレビ等のメディアも参考にし、今現在起きている事に関心を寄せて、「これは決して他人事ではない」と、各々が責任を持って取り組み、失敗を恐れずに挑戦する姿が求められます。私は青年会を通して、その生き方を学ぶつもりです。2年間よろしくお願いいたします。

# 北海道

## 東北管区理事 天野大真



このたび全曹青東北管区理事を務めさせていただくことになりました宮城県曹洞宗青年会所属の天野大真です。前任渡辺和弘理事在任中には、東北曹青は震災復興という大きな目標へ向け一丸となってそれに取り組み、その中で各県相互のそして全曹青とのつながりをさらに進化させ深い信頼関係を結ぶことが出来ました。そして今期、東北曹青は40周年という節目の年を迎えます。『東北はひとつ』というスローガンの意味を改めて考えつつ、復興支援という目標はもちろんのこと、東北管区理事として東北にあっては各県のパイプ役として円滑な運営を目指し、全曹青にあっては東北の意見の集合として、この重責を果たしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

# 東北

## 関東管区理事 森橋憲良



関東管区理事を務めさせていただきます、埼玉県第二宗務所青年会の森橋憲良と申します。

全曹青20期会長櫻井尚孝師より相承された、二祖峨山韶碩禅師650回大遠忌年度を無事圓成できますよう、21期安達瑞樹会長を管区理事として、お力添えをさせていただき所存ですので、どうぞご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

# 関東



# 九州曹洞宗青年会総会

平成27年6月10日 熊本ホテルキャッツスル

## 加盟団体活動レポート

第45回九州曹洞宗青年会（以下、九州曹青）総会、熊本大会では多数の出席をいただきました。

また遠くより出席いただきました全曹青の会長、副会長、九州各県の事務局、会長、会員の皆様に対し厚く御礼を申し上げます。また講師として、福島県から久間泰弘師にお越しいただき活動されている福島県においての現状をご講演いただきました。

その中で『風化』、忘れ去られることが一番辛いこと。昨今ボランティアの数は年々減少しているが、依然として除染が進まず、被災者はふるさとへ帰れず仮設住宅に住んでいる状態が続いています。ぜひ風化させることなくボランティアに来て欲しい、と話されました。また被災者との『共感』を是非して欲しいということ、しかし『同化』にならないようにともご助言をいただきました。

総会においては、九州曹青16期の田中光顕会長の熊本県執行部から17期の須川憲司会長とする長崎県執行部への引継ぎを行い、新執行部として皆様の承認をいただきました。

今期の九州曹青の目標は、『九州はひとつ』『社会と禅をつなぐために』です。【九州はひとつ】については、この九州曹青が脈々と受け

継いできた懇親と融和の目標です。九州曹青会員の仲の良さは決して各管区にひけをとれません。

もう一つは【社会と禅をつなぐために】です。檀信徒とコミュニケーションをより密に取るため、また檀信徒の子ども様方によりお寺に興味を持ってもらうために、我々自身もまた社会見学を通して世の中の動きに眼を向けましょうという意味で目標をたてました。

まず数日後に開催される新事業として『九州トヨタ工場見学』の承認を得ました。これは禅の集いをすでに行っているお寺については「第〇回開催記念」として、初めて禅の集いを企画してみようかというお寺については「夏休みの自由研究として工場見学はいかがですか」という提案とまた機会をつくるために事業を計画いたしました。さっそく総会后多数の参加の応募がありましたこと誠に感謝いたします。

今期の九州曹青の課題として、年々会員数が減少しており今後ますます資金繰りが厳しい状態になる見通しです。この17期執行部の任期において将来の九州曹青の為に抜本的な会計の見直しをしなければならぬことになりました。皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

また総会後の懇親会時に初めて設置しました「助成金箱」に驚くほどの助成金を会員各位に投じていただいたこと誠に感謝いたします。九州曹青万歳、九州はひとつ！

文／九州曹洞宗青年会会長 須川憲司


  
 京法衣・京仏具
   
 京都本店 〒605-0081 京都市東山区古門前通花見小路東入 TEL 0120-29-8161 FAX 075-525-2359
   
 東京店 〒105-0014 東京都港区芝2丁目15-2 TEL 0120-3232-09 FAX 03-3454-3251
   
 福岡店 〒812-0036 福岡市博多区上呉服町12-7 TEL 0120-2143-22 FAX 092-291-2144


 心をかたちに 感動の旅！
   
**ビーエス・グループ会**
  
 〔幹事〕東京本社
   
 〒105-0004 東京都港区新橋三丁目2-7 恭和ビル2F
   
 TEL (03) 3502-4041 FAX (03) 3502-5416

## 平成27年度 第2回執行部会

平成27年5月10日(日)午後2時から、曹洞宗檀信徒会館4階芙蓉の間で、平成27年度第2回執行部会が行われ、平成26年度活動報告及び決算報告、平成27年度活動計画案が審議されました。

## 第2回理事会

平成27年5月10日(日)午後7時45分から、及び翌5月11日(月)午前8時からの2回に分けて、曹洞宗檀信徒会館4階芙蓉の間で、平成27年度第2回理事会が行われました。

執行部会に続き、平成26年度活動報告及び決算報告、平成27年度活動計画案について、管区理事の皆様からご質問・ご意見をいただき、内容を精査いただきました。

## 中央研修会

平成27年5月11日(月)午前10時から、曹洞宗檀信徒会館3階桜の間で、中央研修会

『テイク・ナット・ハンの教えとともに』  
プラムヴィレッジの高僧30名vs日本の青年僧100名』が行われました。

テイク・ナット・ハン師は僧院「プラムヴィレッジ」を拠点にマインドフルネスの普及活動を行っています。療養中の師の来日は叶いませんでしたが、師の薫陶を受けた高僧たちとの研修会が実現しました。

禅歌の穏やかな雰囲気の中始まった研修会は「法話」ではテイク・チャン・ファップ・ユン師が、修行や自身の出家について語られました。

酒とギャンブル漬けの父を憎み、ドアを開ける音にまで怒りを感じていた少年時代に心を捉われていた。父の存在が怒りではなく、記憶の中の父に対して怒っていることに気づいた。心を今の呼吸にとどめることがマインドフルネスと説かれました。

「対話会」は、一問一答の形で行われました。参加者からの「あなたの方が理想とする社会とは」との問いには、「理想の社会はなく、世界は苦に満ちている。しかし私たちは苦を和らげることはできる」として四諦八正道を紹介され、「イデオロギーの主張ではなく、個々の心の平安のために活動している」と話されました。

「親に感謝しない子供にどうやって親のありがたさを説くか」との問いには、「親に感謝しなさい」と言うのではなく、親に向けて、子供に感謝しなさいと説いている」と答えられました。

全ての質問に対し、鐘を一声響かせてから答え始める僧たち。「相手を理解するため聞くのです」との言葉に傾聴の理念が思い出されました。

「食べる瞑想」では、広間の中央に飾られた大きな花瓶を囲む形で全員が円を描いて座り、用意された精進料理のお弁当を、説明に従い、沈黙の中いただきました。

「くつろぎの瞑想」では、参加者が全身を床に預け、床に支えられている自身を覗き、また呼吸によって取り込まれた大気が体内をめぐるのをイメージしながら安らかな時間を過ごしました。

「真理の分かち合い」では、事前に設定された参加者が選択した8つのテーマ毎に分かれ、グループの中に参加者・高僧・通訳ができる方がそれぞれ入り、自己紹介やテーマに関する意見や質問が出され、これに高僧が答えていました。

予定の時間はあっという間に過ぎ、各グループ毎に終了・解散となりましたが、次の評議員会に参加しない一般参加者の方の中には、会場を出て街の中を歩く「歩く瞑想」にも参加される方もおられました。

## 定期評議員会

平成27年5月11日(月)午後4時30分から、曹洞宗檀信徒会館3階桜の間で、平成27年度第1回定期評議員会が行われました。

議事の前には、全日本仏教青年会の伊東政治理事長が挨拶され、当会への感謝と今



後の諸行事への参加を呼び掛けられました。平成26年度活動報告及び決算報告・監査報告の審議の後、21期全国曹洞宗青年会の会長並びに執行部の承認が満場一致で可決され、監事の推薦、特別委員会の設置について、平成27年度事業計画案及び予算案についての審議が行われました。

## 定期総会

平成27年5月12日(火)午前9時から、曹洞宗檀信徒会館3階桜の間で、平成27年度第1回定期総会が行われました。

平成26年度活動報告及び決算報告・監査報告の承認の後、前日の評議員会で承認された21期全国曹洞宗青年会の副会長並びに執行部の発表、監事の選任、特別委員会の設置について、平成27年度事業計画案及び予算案についての承認が行われました。

また、曹洞宗北米国際布教総監・秋葉玄吾老師から、「天平山禪堂プロジェクト」についてお話いただきました。

## 執行部会

平成27年6月18日、曹洞宗檀信徒会館4階芙蓉の間において、執行部会が行われました。

会議に先立ち、宗務庁を代表し、教化部企画研修課の小林千秋課長からご挨拶をいただき、全曹青の活動に本庁としても期待していることを伝えられました。

その後、各種議題や今後の予定について話し合いが行われました。

## 平成27年度 委員会総会

6月18日、曹洞宗檀信徒会館3階蘭の間において、委員会総会が行われました。

安達瑞樹会長の挨拶、各副会長の挨拶の後、会長より執行部・各委員会・特別委員会への委嘱状が授与され、また各委員会から活動の報告がなされました。

災害復興支援部の活動について災害復興支援部事務局長より個々が情報を出し合い災害発生、平常時にも情報の提供ができる災害メーリングリストの説明と報告がなされ、全日本仏教青年会の活動について全日仏青特別委員会より全国大会、加盟団体の現状、仏法興隆花まつり千僧法要の説明と報告がなされました。

また、総合企画委員会、広報委員会、教化法式委員会、心の傾聴委員会、国際委員会の各委員長より活動についての説明、報告がなされました。

そして、曹洞宗東日本大震災災害対策本部復興支援室分室主事の久間泰弘師から、被災地の子どもたちに自由と安心感、そして自信を持たせる為のサマーキャンプについての説明と報告がなされました。

そして、21期のスローガンである「笑顔の君と おなじ空を見上げて」を胸に参加者一同、新たな一歩を踏み出しました。

## 總持寺拝登

6月19日、安達瑞樹会長、倉島隆行副会長、櫻井尚孝顧問、村山博雅顧問、栖川直道国際委員長、荒木道宗20期40周年記念事業実行委員長、原知昭事務局長が大本山總持寺に拝登いたしました。

はじめに平成27年3月26〜28日に開催された『全国徒弟研修会』で国際子ども禅の集い〜未来へ向けての大きいなる足音〜の御礼を述べさせていただき、記念製作監修の日比野克彦氏直筆の額を贈呈させていただきました。

また、10月18日に開催予定である禅文化学林についてのご提案をさせていただき、乙川映元監院老師からも「青年僧侶らしい柔軟な発想で、ともに大遠忌を盛り上げて欲しい」とのお言葉を賜りました。

全国会員の皆様方も、10月18日に開催いたします禅文化学林にぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。



## 第20期全曹青40周年記念事業

## 第4回 傾聴研修会

「いのちの声に耳を澄ます」

4月23日・24日、北海道札幌市大覚寺様で第4回傾聴研修会が開催されました。40周年事業の一環として開催されてきた研修会の締めくくりに広い道内各地から青年僧が集いました。

研修①「災害復興支援から見えてくる傾聴の重要性」(講師：安達瑞樹師)

行茶活動の中で、自分の方が温かい言葉を送っていただいた事、特技の落語を通じた心温まる交流体験を語られました。行茶の果たす役割に、被災者の不安や様々な感情を



受け止める事、地域コミュニケーション確立への寄与を挙げられました。

研修②「傾聴の基礎〜寄り添う傾聴法」(講師：瀬田啓道師)

「相手の話には興味を持ち、共感を繰り返す中で信頼関係は確立し、悩みを話しながら問題点が整理されていく」、聴き方は「遮らない・肯定・積極的な声かけ・相手の沈黙を待つ」と話されました。

研修③「いのちの授業1」(進行：倉島隆行師)

全員で自分が生まれてから死ぬまでの心の状態を、人生の二筆書き(折れ線グラフ状の図)にしました。発表者の明るい未来予想に時折笑い声があふれました。

研修③「いのちの授業2」(講師：岩崎哲秀師)

作成した図を小グループで発表し合いました。辛い過去を打ち明ける参加者の言葉に、身を乗り出して聞き入る姿が各所で見られました。

研修③「いのちの授業3」(講師：秋吉龍成師)

自身の最期に直面する時間。自分の大切なもの、欲しいものを用紙に記入し、死に向かう生活の中で一つ一つ手放していく物語を体験しました。

研修④「傾聴ロールプレイ実習」(講師：福永剛彦師・森田英仁師)

相談内容は仮想ではなく参加者が実際に抱える問題を用いたため、相談者の立場に没入した実習となったようです。森田講師は「対応の仕方、答えは無数にあり、互いの意見を交換することで自分の対応を客観的に評価できる」とまとめました。

研修⑤「総括〜傾聴者に求められること」(講師：館盛寛行師)

心の問題に20年間携わってきた結論として、「私に何を求めているかを察する力」が大切であり、もし僧侶としての言葉を求められた時は明確に答えて良い。そして傾聴を研修で終わらせず家族などの身近なところから始めることを参加者に求められました。

文／広報委員 織田秀道

### 第1回 味来食堂 お坊さんに学ぶ精進出汁と 精進料理の基礎講座開講

平成27年6月30日、中央区の築地社会教育会館内の料理教室を会場に、13時から19時からの2部構成で、第1回味来食堂が開催されました。

20期からの事業を継承し、教化法式委員会の河口智賢委員長、山崎元道委員、松本好寛特別講師(静岡県第一宗務所青年会)、料理研究家の宮内祥子さんによる「お坊さんに学ぶ精進出汁と精進料理の基礎講座」と題し、昼夜それぞれ20人ほどの参加者を迎える為、午前中から築地での買出しや道具搬入などの準備が行われていました。

まず精進料理の基礎知識として「精進料理とは?」「三徳六味」「三心」「五観の偈」「美しい食事作法」について学びました。続いて、精進料理の基礎となる出汁の取り方を学びました。実際に炒り大豆、昆布、干し



椎茸、干瓢を鍋に入れ一晩つけたものを使い、沸騰させずに加熱しながら参加者も灰汁を取って出汁を作っていました。干し椎茸は、宮内さんを通じ大分県の干し椎茸を沢山ご提供いただきました。

参加者の方がたも、スマートフォンやタブレットPC、一眼レフなどを使い熱心に写真を撮影したりメモを取りながら、数人ずつの調理テーブルに分かれ、実際に野菜を切ったり出汁の鍋を見守るなど、頭を働かせ手を動かし、あつという間の2時間30分だったのではないのでしょうか。味来食堂終了後もインターネットを通じ質問をいただくなど、ただ作り、食べるだけでなく、その根底にある精進料理や禅の心に関心を寄せていただける機会となったのではないかと感じました。

文／広報委員長 宮入真道

## 米・天平山僧堂 上棟式報告

6月13日、米国カリフォルニア州レイク郡に建立中の天平山禅堂で上棟式が厳修され、全国曹洞宗青年会から安達瑞樹会長、松岡広也国際委員会顧問、村山博雅顧問とともに訪米いたしました。導師は、大本山永平寺副貫首の南澤道人老師がお務めになり、また、両大本山後堂老師、教化部長老師、ヨーロッパ並びにハワイ総監老師が訪米され、全米だけでなく、世界中から多くの僧侶、関係者が集いました。

現在、世界各地には禅センターが数多く設立され、約900人の曹洞宗僧侶が活動しています。しかし、外国人僧侶が日本で修行することは、経済面・言語面など、様々な理由で難しいのが現実です。そこで、北米国際布教総監の秋葉玄吾老師が発起人となり、国際布教師の方がたの念願であります、

正伝の仏法を修行する為の修行道場を北米に建立する事となりました。

天平山禅堂は、総面積13万5000坪の敷地を擁し、山門、仏殿、僧堂、衆寮、庫院、東司、浴司の伽藍を揃え、日本の檜材を使った本格的木組み建築になります。国際布教師のみならず、日本人僧侶にとりましても、近年加速するグローバル社会に即応する為に修行出来る専門僧堂の1つとなると思います。また、日本で修行した後にアメリカで他国の僧侶とともに修行する事で、違った視野が備わっていくのではないかと思います。

天平山禅堂を建立するにあたり、まだまだ資金が必要だということで、秋葉老師がご尽力されております。一日も早い完成を心待ちにしております。

文/国際委員長 栖川直道



## 韓国・花まつり 燃燈会報告

5月16日・17日、旧暦で祝う韓国の花まつり燃燈会に参加しました。期間としては15日～17日と25日に韓国全国のお寺で行われる法要式です。

16日には、夕方から21時ごろまで、10万個余りの提灯を持った仏教徒たちによるパレードが行われ、その様子は圧巻でした。パレードの参加者は韓国の寺院の信者さん、僧侶もしくは他国の仏教会代表の方がたのことでした。各国の仏教徒が一つの場所に集まり、道を歩行者専用にし、これほどまで盛大に祝う仏教行事が他にあるのでしょうか。

そして、17日には仏教徒各国のブースが出店し、多彩な仏教文化を体感することができました。午前中、ソウル市内にある曹溪寺で法要随喜した後、私たちも日本人ブースを出店しました。日本の仏教書物その他

諸々の配布をし、また坐禅・折り紙・抹茶体験をしていただき、日本の文化に触れてもらうことができました。

今回、このような行事に参加し、一つ心強く打たれたことがあります。それは、韓国の人が、日本のことが好きで、日本のことを勉強し話しかけて来てくれる人が多くいたことです。

「今日ここで会えたのもご縁。会えて良かった。ほんと日本から来てくれてありがとう・・・」

そう日本語で言い、両手で強く握手をしてくれた方が多くいて、これには深く感動しました。「反日」と言われているが、実際はそうではないと気づかせていただいた瞬間でもありました。また、少しでも日本のことを知ってもらう良い機会になったとも思います。

文/国際委員 大橋康道



### 次号 予告

ネパール震災支援について本会は、全日本仏教青年会加盟団体として世界仏教徒青年連盟と協働し、村山博雅顧問と松岡広也国際委員会顧問両師をネパールに派遣しました。現在、仏教国ゆえに現地コミュニティと直結する各寺院を拠点とする直接的支援を、ネパール仏教会を通じ継続しています。詳細は次号掲載予定です。



# 平成27年 東大寺 仏法興隆花まつり千僧法要



平成27年5月26日(火)午後1時15分から、奈良県東大寺様を会場に、「全日本仏教青年会(以下、全日仏青)主催「仏法興隆花まつり」が厳修されました。加盟団体である全国曹洞宗青年会(以下、全曹青)からは、全曹青参加者を中心に北は岩手から南は宮崎まで全国の曹青会からの随喜もあり96人が参加、全体では500人近い各宗派の僧侶が集い、千僧法要をお勤めいたしました。例年は4月26日の開催ですが本年は1ヶ月遅れの開催で、当日は夏のような暑さでした。

午前10時から東大寺大仏殿の東側にあるアシヨカピラー宝塔に各宗派から15人ほどが集まり、周辺の清掃や獅子像の苔落としを行いました。

その後、境内の金鐘会館で随喜の各宗派僧侶が威儀を整え全体打合せを行い、午後1時15分に会館を出発して4列縦隊を組み、普段は開いていない大仏殿の正面門を通り大仏殿に向かいました。この日の東大寺には外国人観光客の方がたや修学旅行生が多数訪れており、突如始まった500人もの僧侶の列、響き渡る法螺貝の音色に驚いておられました。沿道では写真を撮影したり、手を合わせ拝まれている方もおられました。大仏殿に入り、ご本尊の盧舎那仏様を囲



むように参列の僧侶が登壇の後、全日仏青の伊東政浩理事長が全ての法要を通しての導師としてご本尊様の前に座られ、開会の辞、惣礼、金峰山青年僧の会による法螺吹奏、天台仏教青年連盟による声明・散華の後、法要が各宗派により勤修されました。

融通念佛宗青年会による「声明・念仏」、全国浄土宗青年会による「念仏」の後、全曹青は「般若心経・大般若経転読・普門品偈」をお勤めいたしました。導師を務めた安達会長は、ご本尊様、また大仏殿に参拝されていた方がたに向け「大般若経理趣分」を転読し、仏法の興隆と世界平和への祈りを捧げました。

更に、伊東会長が導師を務められ全国日蓮宗青年会による「木剣」の後、全員で回向と四弘誓願をお唱えいたしました。

大仏殿での法要を終えると、門外に移動して記念撮影。

その後、獅子像前で南都二六会会長を導師に、全日仏青役員各位や各加盟団体代表が両班を務め、花まつり法要が勤修されました。全員で般若心経、普門品偈を誦経する中、両班各位は焼香の後、2体の誕生仏に恭しく灌水し、お釈迦様の誕生を祝うとともに仏教の今日まで続くことを感謝いたしました。

文／広報委員長 宮入真道



## 沖縄地上戦を追悼し開催

# 全日仏青全国大会in沖縄

平成27年6月22・23日、沖縄県那覇市沖繩かりゆしアーバンリゾート・ナハで全日仏教青年会初の試みとして沖縄地上戦終戦日に全国大会が開催されました。

沖縄では組織的な戦闘が終結した6月23日を事実上の終戦日として、毎年終戦記念の追悼行事が行われています。戦後70年の節目を迎える本年は、世界平和の礎を築く道を宗教・宗派の対話を通して模索し、広く社会に発信していくことを目的に、宗教対話と慰霊行脚を趣旨とした大会が那覇市・糸満市で開催されました。

大会1日目は、開会宣言後、日本国内で唯一の地上戦が行われた沖縄戦について学ぶ為、語り部の照屋盛行氏より、当時の日本兵や民間人の実話から地上戦のすさまじさを学んだ後、伊東政浩理事長の挨拶、続いて佐藤壯広氏より沖縄固有の精霊信仰「セジ」について学びました。

大会の締めくくりに、世界三大宗教による諸宗教対話が行われました。コーデイナーター戸松義晴師の下、キリスト教からフェリックス・マチャード大司教、イスラム教から樋口美作師、仏教から清法寺住職・財団法人東方研究所研究員の奈良修一師の3人が参加され、各々が各宗教に対する見解を

述べられ、続いてパネルディスカッションが行われ、大会は無事円成しました。

大会2日目は、参加者の有志による平和行進「慰霊行脚」が行われました。全国曹洞宗青年会からは安達会長以下出席者のほぼ全てが慰霊行脚に参加しました。早朝6時に那覇市の日蓮宗法華経寺様に集合し、糸満市へ移動後の7時に糸満ロータリーから平和行進を開始しました。各宗派様ざまな様式が調和して、参加している僧侶たちの真剣な願いが行進を迫力のあるものにしていました。

途中からは気温も上がり炎天下の行進になりましたが、大会スタッフによる先回りしての心のこもった給水所が何ヶ所も設けられ、参加者の体調を気遣っていただきながら、ひめゆりの塔や平和祈念公園内の慰霊碑で慰霊祭を行い、5時間にわたる行進の最終目的地、平和祈念公園内式典広場前に整列して、12時のサイレンとともに全員で黙祷を捧げました。

炎天下で湿度も高い中の非常に過酷な行進ではありましたが、無事最後まで慰霊行脚に参加し円成出来たことに感謝を込め、改めて戦死者の冥福をお祈り申し上げます。

文／広報委員 横山岳洋

全国曹洞宗青年会の活動は皆さまの賛助費に支えられております。

この度もご協力いただき誠に有難うございました。

◆山形県第1

52 柳沢寺 様  
101 長泉寺 様  
238 西来院 様  
241 福昌寺 様

◆山形県第2

285 泉高院 様  
322 洞松寺 様  
344 蔵高院 様  
345 光岳寺 様

◆山形県第3

468 宗伝寺 様  
639 慶全寺 様  
687 寶泉寺 様  
708 光浄寺 様  
722 永蓮寺 様  
734 東光寺 様

◆秋田県

26 洞泉寺 様  
27 永源寺 様

85 寶圓寺 様  
166 久昌寺 様  
174 満福寺 様  
184 護昌寺 様  
206 松雲寺 様  
207 大川寺 様  
220 雲巖寺 様  
261 見性寺 様  
298 浄運寺 様

◆北海道第1

14 廣福寺 様  
78 正林寺 様  
253 大慈寺 様  
257 高臺寺 様

◆北海道第2

181 永祥寺 様  
239 禪昌寺 様  
279 西乗寺 様  
358 禪照寺 様

359 東明寺 様  
418 萬台寺 様

〔 ボランティア基金感謝録 〕

東京都 青松寺 様	静岡県 光明寺 様	広島県 中興寺 様	青森県 青森県宗務所 様
東京都 俊朝寺 様	愛知県 成福寺 様	鳥取県 安楽寺 様	青森県 澄月寺 様
東京都 観栖寺 様	愛知県 薬師寺 様	鳥根県 全隆寺 様	青森県 光昌寺 様
東京都 東光寺 様	愛知県 宝珠院 様	鳥根県 桐岳寺 様	青森県 聖福寺 様
東京都 清巖寺 様	愛知県 吉祥寺 様	愛媛県 西禅寺 様	青森県 高沢寺 様
東京都 曹洞宗宗務庁 様	愛知県 龍興寺 様	福岡県 太養院 様	山形県 宗傳寺 様
埼玉県 廣徳院 様	愛知県 成福寺 様	熊本県 向陽寺 様	山形県 高音寺 様
群馬県 天増寺 様	愛知県 靈岩寺 様	長野県 壬生智恵 様	山形県 蔵高院 様
群馬県 海源寺 様	愛知県 薬師寺 様	長野県 慈恩院 様	山形県 泉高院 様
栃木県 大中寺 様	愛知県 金清寺 様	長野県 西福寺 様	山形県 永蓮寺 様
茨城県 龍心寺 様	愛知県 宝泉寺 様	長野県 君島洞光 様	山形県 光岳寺 様
千葉県 芳泰寺 様	三重県 庭岩寺 様	長野県 福泉寺 様	秋田県 大川寺 様
千葉県 寶應寺 様	岐阜県 沢田祥信 様	新潟県 長命寺 様	秋田県 護昌寺 様
千葉県 慶林寺 様	岐阜県 洞泉寺 様	福島県 正法寺 様	秋田県 洞泉寺 様
千葉県 宗胤寺 様	大阪府 畑中釈日 様	福島県 円通寺 様	北海道 禪照寺 様
静岡県 耕月寺 様	大阪府 拾翠寺 様	福島県 長泉寺 様	北海道 大慈寺 様
静岡県 源光院 様	大阪府 南詢寺 様	福島県 徳成寺 様	北海道 萬台寺 様
静岡県 盤脚院 様	兵庫県 向榮寺 様	福島県 浄円寺 様	北海道 廣福寺 様
静岡県 宿蘆寺 様	兵庫県 新宮寺 様	福島県 常円寺 様	北海道 永祥寺 様
静岡県 吉岡博瑞 様	兵庫県 谷松寺 様	宮城県 光明寺 様	北海道 高台寺 様
静岡県 大正寺 様	広島県 福善寺 様	岩手県 聖福寺 様	

〔 ネパール地震支援金 〕

神奈川県 正翁寺 様	愛知県 一心寺 様	新潟県 東岸寺 様
埼玉県 光明寺 様	京都府 無学寺 様	福島県 長泉寺 様
栃木県 成高寺 様	京都府 善光寺 様	山形県 東光寺 様
千葉県 重俊院 様	岡山県 每来寺 様	秋田県 永源寺 様
静岡県 宗心寺 様	山口県 中善寺 様	秋田県 天正寺 様
愛知県 龍拈寺 様	長野県 長野第2青年会 様	秋田県 蔵昌寺 様



# [ 賛助費浄納御芳名簿 ]

平成27年4月1日～6月30日取扱い分

## ◆東京都

3 俊朝寺 様  
42 慈眼寺 様  
67 長善寺 様  
160 喜運寺 様  
173 江岸寺 様  
177 清巖寺 様  
258 東光寺 様  
287 龍見寺 様  
294 観栖寺 様  
345 正法院 様

## ◆神奈川県

中野東禪 様

## ◆神奈川県第2

16 正観寺 様  
83 正翁寺 様

## ◆埼玉県第1

67 寶國寺 様  
92 浄山寺 様  
106 光巖寺 様  
190 廣徳院 様

## ◆埼玉県第2

467 光明寺 様

## ◆群馬県

194 善宗寺 様  
294 海源寺 様  
311 泉通寺 様  
313 全林寺 様

## ◆栃木県

1 成高寺 様  
43 東光寺 様  
53 大中寺 様  
57 満福寺 様  
161 東陽院 様  
166 正慶寺 様

## ◆茨城県

92 宝積寺 様  
182 龍心寺 様  
197 長竜寺 様

## ◆千葉県

2 宗胤寺 様  
8 重俊院 様  
29 慶林寺 様  
93 芳泰寺 様  
95 寶應寺 様  
101 医王院 様  
185 勢國寺 様

## ◆山梨県

392 慈照寺 様

## ◆静岡県第1

107 大正寺 様  
165 光明寺 様  
421 盤脚院 様  
464 正泉寺 様  
495 普門院 様  
501 養徳寺 様

## ◆静岡県第2

228 耕月寺 様  
267 修禪寺 様  
319 源光院 様  
362 福泉寺 様

## ◆静岡県第3

634 光明院 様  
834 青龍院 様  
973 松向寺 様  
1346 靈鑑院 様

## ◆静岡県第4

1017 龍泉寺 様  
1065 高林寺 様  
1099 宿蘆寺 様

## ◆愛知県第1

18 大運寺 様  
101 成福寺 様  
111 龍興寺 様  
143 長福寺 様  
148 法泉寺 様  
173 神蔵寺 様  
209 観音寺 様  
229 宝泉寺 様  
261 薬師寺 様  
313 長松寺 様  
606 向陽寺 様  
607 林宗寺 様  
635 永澤寺 様  
1098 薬師寺 様  
1145 薬師寺 様

## ◆愛知県第2

684 花井寺 様  
812 龍拈寺 様  
915 大栄寺 様

## ◆愛知県第3

411 福田寺 様  
438 吉祥寺 様  
523 本光寺 様  
531 安國寺 様

## ◆岐阜県

122 大龍寺 様  
177 大隆寺 様  
188 洞泉寺 様  
190 長久寺 様  
236 全超寺 様  
245 良守寺 様

## ◆三重県第1

24 一心院 様  
39 庭岩寺 様

## ◆滋賀

205 秀隣寺 様

## ◆京都府

34 神應寺 様  
46 榮春寺 様  
70 護國寺 様  
80 西光寺 様  
236 善光寺 様  
378 徳昌寺 様  
389 萬福寺 様

## ◆大阪府

98 吉祥院 様  
100 南詢寺 様  
104 拾翠寺 様  
109 法蔵寺 様

## ◆和歌山県

20 三寶寺 様

## ◆兵庫県第1

2 満福寺 様  
287 向榮寺 様  
338 勝竜寺 様  
439 誕生寺 様

## ◆兵庫県第2

134 谷松寺 様  
228 豊楽寺 様  
276 新宮寺 様

## ◆広島県

7 伝福寺 様  
46 双照院 様  
100 中興寺 様  
177 功德寺 様  
181 東明寺 様

## ◆山口県

111 溪月院 様

## ◆鳥取県

114 安楽寺 様  
143 瑞応寺 様  
159 大祥寺 様

## ◆島根県第2

60 桐岳寺 様  
63 龍覚寺 様  
70 完全寺 様  
78 全隆寺 様  
118 常福寺 様  
135 薬師寺 様  
195 總光寺 様  
198 日光寺 様

## ◆徳島県

17 江音寺 様

## ◆愛媛県

18 陽春院 様  
34 本光寺 様  
113 西禅寺 様  
146 興雲寺 様  
164 城慶寺 様

## ◆福岡県

158 報恩寺 様

## ◆大分県

8 豊音寺 様  
134 長安寺 様

## ◆長崎県第1

78 宝泉寺 様

## ◆長崎県第3

101 南明寺 様

## ◆佐賀県

116 福聚寺 様  
150 元光寺 様

## ◆熊本県第1

65 清水寺 様

## ◆熊本県第2

79 向陽寺 様

## ◆長野県第1

62 良松寺 様  
130 福泉寺 様  
227 岩松院 様  
279 大徳寺 様  
300 威徳院 様  
306 城光院 様

## ◆長野県第2

379 瑞雲寺 様  
386 西福寺 様  
478 金鳳寺 様  
512 浄蓮寺 様  
603 長性院 様

## ◆福井県

27 竜沢寺 様  
70 宝円寺 様  
231 禅応寺 様

## ◆石川県

133 慈眼菴 様

## ◆富山県

83 永久寺 様

## ◆新潟県第1

344 玄德寺 様  
350 定光寺 様  
358 円光寺 様  
384 庄川寺 様  
512 實相庵 様

## ◆新潟県第3

514 長命寺 様  
530 花栄寺 様  
532 常福寺 様

## ◆新潟県第4

36 吉祥寺 様  
217 諸善寺 様  
236 東岸寺 様  
255 龍阜院 様  
288 宝蔵寺 様

## ◆福島県

13 陽泉寺 様  
14 円通寺 様  
19 常円寺 様  
74 洞雲寺 様  
79 西松寺 様  
83 最禅寺 様  
121 長泉寺 様  
139 徳成寺 様  
174 龍徳院 様  
195 東円寺 様  
226 常隆寺 様  
318 安穏寺 様  
446 天宗寺 様  
449 松庵寺 様  
461 正法寺 様

## ◆宮城県

141 自照院 様  
203 洞雲寺 様  
212 祥雲寺 様  
281 光明寺 様  
352 安永寺 様  
414 虎溪寺 様

## ◆岩手県

28 聖福寺 様  
111 西泉寺 様  
123 寶城寺 様  
154 梅泉寺 様

## ◆青森県

15 梅林寺 様  
19 宗徳寺 様  
81 天徳院 様  
100 澄月寺 様  
101 聖福寺 様  
103 光昌寺 様  
189 乗照寺 様

## 被災地とともに、おなじ空を見上げて

第21期全国曹洞宗青年会（以下、全曹青）がスタートいたしました。21期全曹青では従来の体制を見直し、特別委員会「災害復興支援部」となり、東日本大震災復興支援担当と全国各地災害担当に分け、災害時、通常会務に支障をきたさないよう、役割を分担し、21期全参加者並びに全国各地の地区連絡員とともに災害時には『災害メーリングリスト』等を使い、情報の共有、支援の要請など迅速に対応いたします。



4年が経過した東日本大震災被災地の行茶活動に代表される支援活動にお

いては発災当初、福島県伊達市成林寺様に設置された『全曹青災害復興支援現地本部』から宗務庁管轄の『曹洞宗東日本大震災災害対策本部復興支援室分室』に移管され、宗侶のみならず延べ1,300人を超える方がたにご従事いただきました。しかしながら被災地では復興支援住宅に移られたことにより、新たなコミュニティを構築するにあたり今後復興支援住宅内での行茶活動の必要性も生まれてまいりました。今後ともさらなるご支援ご協力をお願いいたします。

今後起こりうる各地災害においては、発災時の緊急体制はもちろんのこと、ストックヤードなど平時の減災に向けた取り組みを皆さまと行ってまいります。全国社会福祉協議会などの外部団体と連携も積極的に取り組んでまいります。また全国各地での防災を目的として、各県の宗務所・各青年会が一目瞭然で、各地で想定されている災害も併せて記入した全国防災マップを作成いたします。加えて有事の際、支援拠点となる寺院等の情報を記載することも計画しています。

今後とも、東日本大震災をはじめとした各地での災害復興支援活動にご協力ご尽力いただきます様、お願い申し上げます。

文／災害復興支援部

事務局長 城市泰紀

## 全国曹洞宗青年会 第二十二期会長選考について（公募）



会長選考委員会に於いて、会則並びに細則に従って左記の事項が決定されました。全国曹洞宗青年会第二十二期会長に立候補する者は、左記の要綱に従い、立候補届けを完了して下さい。

全国曹洞宗青年会 第二十二期会長選考委員会

委員長 里野和敬

### 全国曹洞宗青年会 第二十二期選考委員会 届出要綱

- 一、立候補並びに履歴書の提出
- 二、立候補者の曹洞宗青年会における経歴書の提出
- 三、推薦状 ①管区曹青会代表者

#### ②曹青会代表者

- 四、立候補に当たっての執行方針の提出
- 五、立候補届出先

「全国曹洞宗青年会 第二十二期選考委員会 委員長 里野和敬」宛  
〒七九四―〇一〇七

愛媛県今治市玉川町桂甲二二 宝泉寺内  
電話 〇八九八―五五―二二八三

- 六、立候補届け出期限 平成二十八年一月三十一日（日）必着
- 七、立候補届け出方法 必ず郵便書留にてお願い致します。
- 八、選考委員会構成員

選考委員長 里野和敬（四国管区理事）

選考副委員長 天野大真（東北管区理事）

岸 哲生（近畿管区理事）

選考委員

安達瑞樹（第二十一期会長） 富田大輔（北海道管区理事）

森橋憲良（関東管区理事） 高野義範（北信越管区理事）

吉岡博瑞（東海管区理事） 湯浅英利（中国管区理事）

須川憲司（九州管区理事）

# face of 全曹青



副会長  
**神作紹道**  
宮城県曹洞宗青年会

副会長・災害コーディネーターとして、また東北からの参加者として東日本大震災の復興支援の継続的活動に取り組んでまいりたい所存です。会員の皆さまには、復興支援の継続的な協力と全曹青の活動へのご協力をお願い申し上げます。多くのご法縁を頂戴して自分が存在していることに感謝しながら2年間勤めさせていただきます。



副会長  
**酒井泰寛**  
曹洞宗長野県第一青年会

第21期副会長・災害コーディネーターを拝命いたしました、酒井と申します。さて、皆さま災害への対策は万全でしょうか？去年1年を振り返ってみても、全く予想もしていなかった災害が多く発生しました。私はこの全曹青

という、素晴らしい連絡協議体で、会員みんなが情報を共有していくことが出来れば、災害時に本当に大きな力になると確信しています。第21期では会員皆さまとともに災害時に役に立つ体制を作っていきたいと思っております。何卒ご協力よろしくお願いいたします。



副会長  
**倉島隆行**  
三重県曹洞宗青年会

「対話とは自己変革である」とは世界三大宗教による諸宗教対話シンポジウムで奈良修一老師がおっしゃった言葉です。全曹青の活動を通じて、他宗派・他団体と交流する機会が増え仏教思想と社会生活について自問自答している中で、この対話による自己変革というキーワードはストンと腑に落ちました。全曹青は仲間と真剣に熱心に修行実践する場であり、更に加盟曹青会との対話を促進する連絡協議体でもあります。全国の曹青会活動を情報収集し、国内外へ配信するべくICT担当として精進させていただきます。

\*ICT = 情報(Information)や通信(Communication)に関する技術(Technology)の総称。ネットワークを利用し、多様なコミュニケーションを取ることで。



事務局長  
**原知昭**  
いずも曹洞宗青年会

いずも曹洞宗青年会より参加させていただき、4期目となる今期事務局長を拝命いたしました。40周年という節目を終え、全曹青は新たな一歩を踏み出します。先輩諸老師方の想いを受け継ぎ、「大衆教化の接点を求めて」の理念を忘れることなく、より社会に資する団体であるべく精進してまいります。2年間何卒よろしくお願い申し上げます。



会計  
**伊藤承章**  
東三河曹洞宗青年会

東三河曹洞宗青年会より参加させていただき3期目となります。21期会計として、全国会員の皆様、また『SOUSEI』をお読みいただいています皆様からのご支援を、宗門繁栄と大衆教化のために活かすべく努めてまいります。今までよりも少しばかり、全曹青に目を向けていただけると幸いです。2年間よろしくお願いいたします。



総合企画委員長  
**岡島典文**  
愛知県第一曹洞宗青年会

「笑顔の君と おなじ空を見上げて」人が笑っているのが大好きな私は、第21期のこのスローガンが大好きです。総合企画委員会には笑顔を育み心を繋ぐ頒布物や企画があります。笑顔で全国の方がたとふれ合える機会があります。笑顔を大切に、皆さまとともに精進してまいります。2年間、何卒よろしくお願い申し上げます。



広報委員長  
**宮入真道**  
曹洞宗長野県第一青年会

長野県第一青年会から参加しております、宮入真道と申します。今期から広報委員長を拝命することとなりました。広報委員会の任務は「伝えること」です。誰に、何を、どう伝えるかというのとは簡単な様でいてなかなか難しいことです。委員会一同、精進してまいります。よろしくお願いいたします。



教化法式委員長  
**河口智賢**  
曹洞宗山梨県青年会

ご縁をいただき第21期教化法式委員長を拝命いたしました事に深く感謝いたします。私は19期法式委員会と経てきました。第21期スローガン「笑顔の君と おなじ空を見上げて」を旨とし、全曹青を通じ全国の青年宗侶が手を取り合い、また布教教化に向けてともに歩める礎を会長はじめ皆で一丸となつて築いていきたいと存じます。この2年間何卒よろしくお願いいたします。



心の傾聴委員長  
**福永剛彦**  
鹿児島県曹洞宗青年会

前期庶務に引き続き、今期は委員長の役割を拝命させていただきます。全国各地より集まった熱意を持って活動する皆さまとともに、2年間精進させていただきます。年々活動が充実していき、2年間精進させていただきます。年々活動が充実していき、2年間精進させていただきます。年々活動が充実していき、2年間精進させていただきます。



国際委員長  
**柄川直道**  
大阪曹洞宗青年会

この度、国際委員長を務めさせていただきます。大阪曹洞宗青年会の柄川直道と申します。今期より国際委員会が発足され、近年加速するグローバル社会に我々僧侶も即応する為に必要な国際活動を行ってまいりたいと思っております。青年会員の皆様にもご参加していただきたく考えておりますので、2年間どうぞよろしくお願い申し上げます。



事務局次長  
**内藤宏信**  
曹洞宗福島県青年会

タブレットでペーパーレスな会議を導入した前期。紙資源と経費の大幅な節約が実現しました。かなりのプレッシャーですが、会議が円滑に進むように気合いを入れて臨んでいきます。既に気持ちだけはフルスロットル！燃え尽きないように頑張ります。応援よろしく申し上げます。

編集後記

私が『SOUSEI』に携わりだしたのが154号、そして今回が170号。

これまで様々な内容を通して、青年僧侶としてのメッセージを社会へ発信して参りました。また『SOUSEI』作成を通して、多くの学びと出会いがありました。おかげさまで21期も携わることができ有難いことです。

今期のスローガン「笑顔の君と おなじ空を見上げて」。私はこの言葉を聞いて思い出した歌詞があります。

なんてことない作業がこの世界を回り回って  
 何処の誰かも知らない人の笑い声を作ってゆく  
 そんな些細な生き甲斐が日常に彩りを加える

<作詞：桜井和寿>

私たちの活動を通して笑顔で彩られる毎日となるよう、努力して参ります。

今期もよろしくお願ひ申し上げます。

(文／広報副委員長 西古孝志)

次号連載予告



次号から、吉村昇洋師の連載「伝え方のデザイン」が始まります。

僧侶として精進料理をライフワークとしながら、臨床心理士と僧侶としての両面から“人の心と向き合う”活動を続けられ、新著『気にならない生き方』(幻冬舎)をはじめ著書も多数発表されています。

私たちと同じ青年僧侶として、「伝える」をテーマとした計7回を予定しています。ご期待ください！

吉村昇洋師

1977年3月 広島県生まれ。

- ・曹洞宗八屋山普門寺 副住職
- ・臨床心理士
- ・相愛大学 非常勤講師
- 駒澤大学大学院人文科学研究科仏教学専攻修士課程修了(仏教学修士)



広島国際大学大学院総合人間科学研究科実践臨床心理学専攻専門職学位課程修了(臨床心理修士)

平成27年度

禅文化学林

大本山總持寺二祖峨山韶碩禪師六百五十回大遠忌奉賛

平成27年10月18日(日)

会場 大本山總持寺

時間 8:00 集合

9:30 御両尊献供諷經

(焼香師：全曹青21期会長 安達瑞樹)

11:00 精進料理フェスタin總持寺

主催 全国曹洞宗青年会

協力 大本山總持寺

※当日は大本山總持寺においては「鶴見のまちの大遠忌」と題し、「祈りの調べ～池辺晋一郎と僧伽の出会い～」(於：大祖堂 13:30より)を始めとして様々なイベントが催されます。

全国曹洞宗青年会(以下、全曹青)はこの度の大遠忌法要において、10月18日に御両尊献供諷經の報恩法会を勤めさせていただくこととなりました。そこでこの勝縁を機に、当日を禅文化学林開催日として、大遠忌のテーマ「相承」の教えを「食」を通して見つけ、「精進料理フェスタin總持寺～私たちが繋ぐ 相承の想い～」と題して、總持寺境内において全国各地の食材を用いた「食」によるイベントを開催致します。



宗門僧侶が長い年月をかけて培ってきた精進料理は大衆教化に非常に適したものであり、近年では「和食」が世界的にも注目を浴びており、自然を尊び四季折々の食材に親しむ健康的な和の食事である精進料理に親しんでいただくことは教化の意義があると考えます。

参加につきましては、管区理事・評議員を通して追ってご連絡いたします。全国会員諸師のご参加をお待ちしております。